

第1回日本放射線医療技術学術大会開催記念企画 All Japan Radiology の実現に向けて

11月2日(土)
15:30~17:30
第1会場

司 会 実行委員長 (JART) 富田 博信
司 会 実行委員長 (JSRT) 奥田 保男

国民に対して安全で安心できる放射線診療を届けることを目標として、2020年6月に、日本医学放射線学会 (JRS)、日本放射線科専門医会・医会 (JCR)、日本診療放射線技師会 (JART)、そして日本放射線技術学会 (JSRT) の放射線診療関係の4団体で構成される放射線診療4団体連絡協議会 (以下、4団体協議会) が発足しました。この4団体協議会では、最初に小児の生殖腺 (性腺) 防護の見直しについてのプロジェクトの協働に取り組み、2023年4月に東京で開催された日本医学総会 2023 東京博覧会に日本ラジオロジー協会 (JRC) と合同で展示発表を行いました。

放射線診療を実施する上で、チームリーダーは放射線科医であり、放射線科医が診断・治療をおこなうために最適な画像や診断に必要な情報を提供するものが診療放射線技師です。世界的に日々変化していく放射線診療の中で、新しい放射線診断・治療を開発研究するのが JRS で、その技術面を担当するのが JSRT、そして、その研究の場を機器開発をバックアップする日本画像システム工業会 (JIRA) と共に、大きな視野に立って研究発表の場を提供する JRC があり、その研究・臨床の場から得られた情報を放射線科医、または診療放射線技師に提供する役割を果たすのが、JCR と JART と考えられます。

そんな中で、JART と JSRT は、今回、初めて合同で学術大会を開催し、両会が放射線診療の中で持つ役割を再認識し、両会が効率よく協働できるような環境の構築を目指しています。人工知能を応用した機器開発や診断技術の向上が進む中で、われわれ放射線診療に関係する団体が共に手を取り、より一層、世の中に安全で安心できる放射線診療を届けるためには、どんな「次の一手」が必要とされるのか、各団体を代表する先生方にヒントをいただければと思っています。

講師の先生方



石田 隆行
日本放射線技術学会
代表理事



青木 茂樹
日本ラジオロジー協会
代表理事



富山 憲幸
日本医学放射線学会
理事長



山田 恵
日本放射線科専門医会・医会
理事長



瀧口 登志夫
日本画像医療システム
工業会 会長

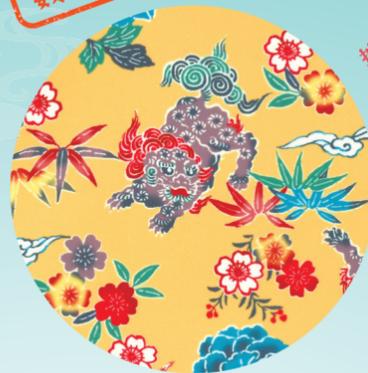
HAGOROMO 羽衣®

一般医療機器 (クラスI)
放射線障害防護用器具

<https://maeda-hagoromo.com>

第1回
日本放射線医療技術学術大会 記念

琉球 びんがた



拡大図
←

第1回大会開催を記念して
マジカルライト・ソフライトのプリント柄オプションに
開催地 沖縄をイメージしたデザインが登場!

琉球の風土を今に伝える染技・染物『琉球びんがた』。
豊かな自然を染め物にあらわす伝統工芸です。
王族をはじめ沖縄の人々を魅了してきた鮮やかな色彩が
日常に彩りを添えてくれます。

汚れが拭き取りやすい
PVCコーティング

抗菌製品
技術協議会 (SIAA)
登録製品

SIAA
ISO22196
for KOHKIN

株式会社 **マイタ**

営業部・経理部・工場 〒123-0845 東京都足立区西新井本町5-4-12
TEL.03-3880-8881 FAX.03-3880-8884
本社 〒113-0033 東京都文京区本郷3-11-9 TEL.03-3811-7315

